

「平和ネット構築を」

独の運動家と
山内徳信さん 基地問題で意見交換

読谷村

【読谷】ドイツの平和運動家、ハンス・ペーター・リヒターさん(六二)ら「沖日独平和交流会」のメンバー四人が六月二十六日、読谷村のふれあい交流館で、前読谷村長で平和憲法・地方自治問題研究所長の山内徳信さんと基地問題や平和行政について意見交換した。



沖日独平和交流会のメンバーらが前読谷村長の山内徳信さんと基地問題などについて意見交換した。読谷村のふれあい交流館

山内さんは、一九七四年に村長に就任してから「何をやるにも必ず米軍基地にぶちあたると健全な状態だった。基地を減らすことで村づくりにつなげたい」と思ったと、村民ぐるみの反基地闘争のきっかけを説明した。

「村民を結集、団結させるため、闘いに夢と共通の目標を持つことが必要だった」と、村の真ん中にある読谷飛行場内に役場や文化センター建築などの具体的なマスタープランを策定し、一つ一つ実現してきた経緯について語った。

リヒターさんらは、ド

イツの軍事基地や反戦運動の現状について報告。「国際的な平和ネットワークをつくりたいので日本、沖縄の人とも連携をとりたい」と話し、山内さんの説明に熱心に耳を傾けていた。

リヒターさんらは、沖大で開かれた日本平和学会に出席するため来沖。ドイツで沖縄の基地問題を報告する展示会を継続開催しており、資料集めも兼ねて辺野古や伊江島なども視察した。



座喜味盛康氏

新組合長に

座喜味盛康氏

北谷町漁協

【北谷】北谷町漁業協同組合は三日、役員選出のための臨時総会を開き、新たな理事・監事七人の役員人事を承認し